

## I 環境保全団体、学校等による調査

## I 環境保全団体、学校等による調査

### 1 調査の目的

水質検査がその瞬間の水の状態を評価する方法であるのに対し、川に棲む水生生物（底生動物）の種類や数を調べると、より長期的な水環境を知ることができます。また、底生動物の調査には特殊な器材も不要なため、比較的簡単に実施できるという利点があります。

本調査は、環境保全団体や学校等（以下、「環境保全団体等」とする。）が「水生生物調査」や「水質の簡易調査（パックテスト）」を実施することにより、身近な川の水環境についての関心を高め、地域における水環境保全活動を支援することを目的に実施しました。

### 2 調査方法

熊本県が作成した「川の水環境・調査のてびき」（平成7年3月発行、平成23年10月改訂、熊本県環境生活部環境局環境保全課）に準じ、水環境の快適さを表I-1に示す5段階とし、川の地形と流域の土地利用状況（評価基礎点）、水質、川底、底生動物の4項目の評価を実施しました。

なお、調査は環境保全団体等が自ら企画し、県環境保全課及び管轄保健所等と協力して実施しました。

### 3 調査結果の概要

環境保全団体等25団体がのべ54地点で調査を実施し、のべ1,023人が参加しました。調査実施団体等の内訳は、環境保全団体関係が11団体、学校関係が14団体でした。

また、調査場所54地点の内訳からは、緑川水系（9地点）や白川水系（12地点）、菊池川水系（15地点）、球磨川水系（6地点）などで特に熱心な活動が実施されていることがうかがえました。

#### ・ 指標生物及び簡易水質調査結果（表I-2）

生物から見た水環境評価では、調査地点22地点中、評価値Ⅰ「快適な水環境」が13地点、評価値Ⅱ「親しめる水環境」が3地点、評価値Ⅲ「不快を感じない水環境」6地点、評価値Ⅳ「多少不快な水環境」が0地点、評価値Ⅴ「不快な水環境」は0地点と大半の地点において比較的良好な結果が得られました。

一方、水質から見た水環境評価では、調査地点54地点中、評価値Ⅰ「快適な水環境」が19地点、評価値Ⅱ「親しめる水環境」が28地点、評価値Ⅲ「不快を感じない水環境」が6地点、評価値Ⅳ「多少不快な水環境」が1地点、評価値Ⅴ「不快な水環境」は0地点でした。

※ 調査を実施した54地点中、生物または水質の水環境評価に必要な項目が全てそろっている地点のみの集計としています。また、環境保全団体等の個々の調査結果等を7ページ以降に示しました。

表 I - 1 川の水環境の快適さの表現（評価値）

階級	川の水環境の快適さ	例えば（感じることなど）
I	快適な水環境	清冽な水の冷たさを感じる さわやかに自然を楽しめる ヤマメ、タカハヤが生息している
II	親しめる水環境	水泳や水遊びができると感じる 水や水辺がこちよく感じる アユ、ウグイ、カワムツが生息している
III	不快を感じない水環境	素足で水の中に入れると感じる 川面や水辺に親しみを感じる ヨシノボリ、オイカワ、コイが生息している
IV	多少不快な水環境	素足では水の中に入りたくない 水辺に近づいて不快感がない程度 コイ、フナ、ナマズが生息している
V	不快な水環境	きたなくて、川では遊べないと感じる 水辺に近よりたいと感じない

表 I - 2 平成 28 年度における県内の団体の参加状況及び調査結果

調査 番号	団体 番号	調査 項目	団体名	河川	水系	市町村名	調査地点名	参加数 (のべ)	調査日	水質 評価	生物 評価
1	1	水質	大江田子ども会	菊池川	菊池川	和水町	菊池川樋門付近	25	8/7	II	-
2		水質		菊池川	菊池川	和水町	コミュニティセンター 付近	25	8/7	II	-
3		水質		菊池川	菊池川	和水町	コーポ坂本付近	25	8/7	II	-
4	2	生物& 水質	豊野町みどりの少年団	浜戸川	緑川	宇城市	宇城市豊野町山崎	11	9/10	II	III
5	3	水質	九州テクニカルメンテナンス	坪井川	白川	熊本市	栄橋付近	9	9/3	I	-
6		水質		梶尾川	白川	熊本市	北部坪井橋付近	9	9/3	I	-
7		水質		坪井川	白川	熊本市	鶴羽田橋付近	9	9/3	I	-
8		水質		坪井川	白川	熊本市	平成大橋付近	7	9/22	I	-
9		水質		坪井川	白川	熊本市	高橋稲荷大橋付近	7	9/22	II	-
10		水質		井芹川	白川	熊本市	第一池上橋付近	7	9/22	II	-
11		水質		亀川	亀川	天草市	明亀橋付近	16	9/10	II	-
12		水質		亀川	亀川	天草市	桶渡橋付近	16	9/10	II	-
13		水質		木山川	緑川	益城町	津毛里橋付近	13	10/30	II	-
14		水質		木山川	緑川	益城町	第二平田橋付近	13	10/30	II	-
15	水質	木山川	緑川	益城町	五楽橋付近	13	10/30	II	-		
16	4	生物& 水質	平小城活性化協議会 (平小城小学校)	内野川	菊池川	山鹿市	内野川上流	10	10/4	II	I
17		生物& 水質		内野川	菊池川	山鹿市	平山温泉付近	10	10/4	II	III
18		生物& 水質		岩村川	菊池川	山鹿市	双板付近	10	10/4	III	III
19		生物& 水質		岩村川	菊池川	山鹿市	湯山付近	10	10/4	II	I
20		生物& 水質		岩村川	菊池川	山鹿市	湯山付近下	10	10/4	III	-
21		生物& 水質		小群川	菊池川	山鹿市	央付近	10	10/4	II	III
22	5	水質	宮原ざまむね座	杖立川	筑後川	小国町	宮原 宮ノ下	5	8/6	I	-
23		水質		志賀瀬川	筑後川	小国町	宮原 関田	5	8/6	I	-
24		水質		杖立川	筑後川	小国町	宮原 柏田	5	8/6	I	-
25	6	水質	北天木活動組織 (北甘木親子会)	天水川	緑川	嘉島町	北甘木 (天水川号橋下流)	31	8/7	III	-
26		水質		矢形川	緑川	嘉島町	石塚橋下流	31	8/7	III	-
27		水質		千原池		嘉島町	千原ため池	31	8/7	IV	-
28	7	水質	薬器堀川をきれいにする会	薬器堀川	白川	熊本市	西日本病院付近	6	10/28	II	-
29		水質		薬器堀川	白川	熊本市	大劇パチンコ横	6	10/28	II	-
30		水質		薬器堀川	白川	熊本市	鉄工団地横御領原橋の下	6	10/28	II	-
31		水質		薬器堀川	白川	熊本市	保田窪本町めいほ橋上流	6	10/28	III	-
32		水質		薬器堀川	白川	熊本市	保田窪マルシヨク店横	6	10/28	II	-
33		水質		薬器堀川	白川	熊本市	託麻原(渡瀬橋下)	6	10/28	I	-

表 I - 2 平成 28 年度における県内の団体の参加状況及び調査結果（つづき）

調査番号	団体番号	調査項目	団体名	河川	水系	市町村名	調査地点名	参加数 (のべ)	調査日	水質評価	生物評価
34	8	生物&水質	関川・諏訪川流域会議	関川	菊池川	荒尾市	岩本橋付近	36	7/22	Ⅱ	Ⅱ
35	9	生物&水質	山都町(美しいまちづくり推進員)	緑川	緑川	山都町	青葉の瀬	26	7/22	Ⅲ	Ⅰ
36	10	水質	菊池管内環境活動協議会 大津町立大津北小学校	湧水		大津町	大津町平川地区	19	9/27	Ⅰ	-
37		水質		通潤用水	緑川	大津町	円形分水工	19	9/27	Ⅰ	-
38		水質		平川	菊池川	大津町	大津北小学校近くのリフレッシュ広場付近	19	9/27	Ⅱ	-
39		水質		矢護川	菊池川	大津町	矢護川公園	19	9/27	Ⅰ	-
40	11	生物&水質	人吉市立人吉東小学校	球磨川	球磨川	人吉市	中川原公園	79	6/2	Ⅱ	Ⅰ
41	12	生物&水質	人吉市立東間小学校	胸川	球磨川	人吉市	胸川橋下	56	6/3	Ⅱ	Ⅰ
42	13	生物&水質	人吉市立西瀬小学校	永野川	球磨川	人吉市	清水川橋下	38	7/5	Ⅰ	Ⅰ
43	14	生物&水質	人吉市立大畑小学校	鳩胸川	球磨川	人吉市	上麓橋下	32	9/2	Ⅰ	Ⅰ
44	15	生物&水質	人吉市立中原小学校	万江川	球磨川	人吉市	新万江川橋下流	63	9/9	Ⅱ	Ⅰ
45	16	生物&水質	人吉市立人吉西小学校	山田川	球磨川	人吉市	鶴亀橋下	36	9/23	Ⅰ	Ⅰ
46	17	生物&水質	甲佐町立白旗小学校	緑川	緑川	甲佐町	乙女橋	12	10/25	Ⅰ	Ⅰ
47	18	生物&水質	和水町立三加和小学校	和仁川	菊池川	和水町	春富小学校	20	9/9	Ⅰ	Ⅱ
48	19	生物&水質	南関第三小学校	八貫水川	菊池川	南関町	南関町小原	15	10/19	Ⅰ	Ⅲ
49	20	生物&水質	南関第四小学校	内田川	菊池川	南関町	柴尾橋(次郎丸橋)	12	8/30	Ⅱ	Ⅲ
50	21	生物&水質	南関町立南関中学校	関川	諏訪川	南関町	南関高校前	11	9/30	Ⅱ	Ⅱ
51	22	生物&水質	合志市立合志南小学校	堀川	坪井川	合志市	元気の森公園付近	50	10/15	Ⅱ	-
52	23	生物&水質	エコロジストリーダー養成講座	湯出川	水俣川	水俣市	水俣市南福寺	21	8/7	Ⅰ	Ⅰ
53	24	生物&水質	宮地岳子供会	大宮地川	大宮地川	天草市	亀ヶ淵	16	7/24	Ⅰ	Ⅰ
54	25	生物&水質	つわの花	中津川		天草市	有明町大島子	15	8/10	Ⅱ	Ⅰ
								環境団体等	11		
								学校関係	14		
								のべ調査地点	54		
								のべ調査人数	1023		

水系	合計
緑川	9
白川	12
菊池川	15
球磨川	6

調査結果	水質	生物
Ⅰ	19	13
Ⅱ	27	3
Ⅲ	7	6
Ⅳ	1	0
Ⅴ	0	0
合計	54	22

※表中の記載内容は、各調査団体が提出した報告書からわかる範囲で記載しています。

- 階級Ⅰ：快適な水環境
- 階級Ⅱ：親しめる水環境
- 階級Ⅲ：不快を感じない水環境
- 階級Ⅳ：多少不快な水環境
- 階級Ⅴ：不快な水環境

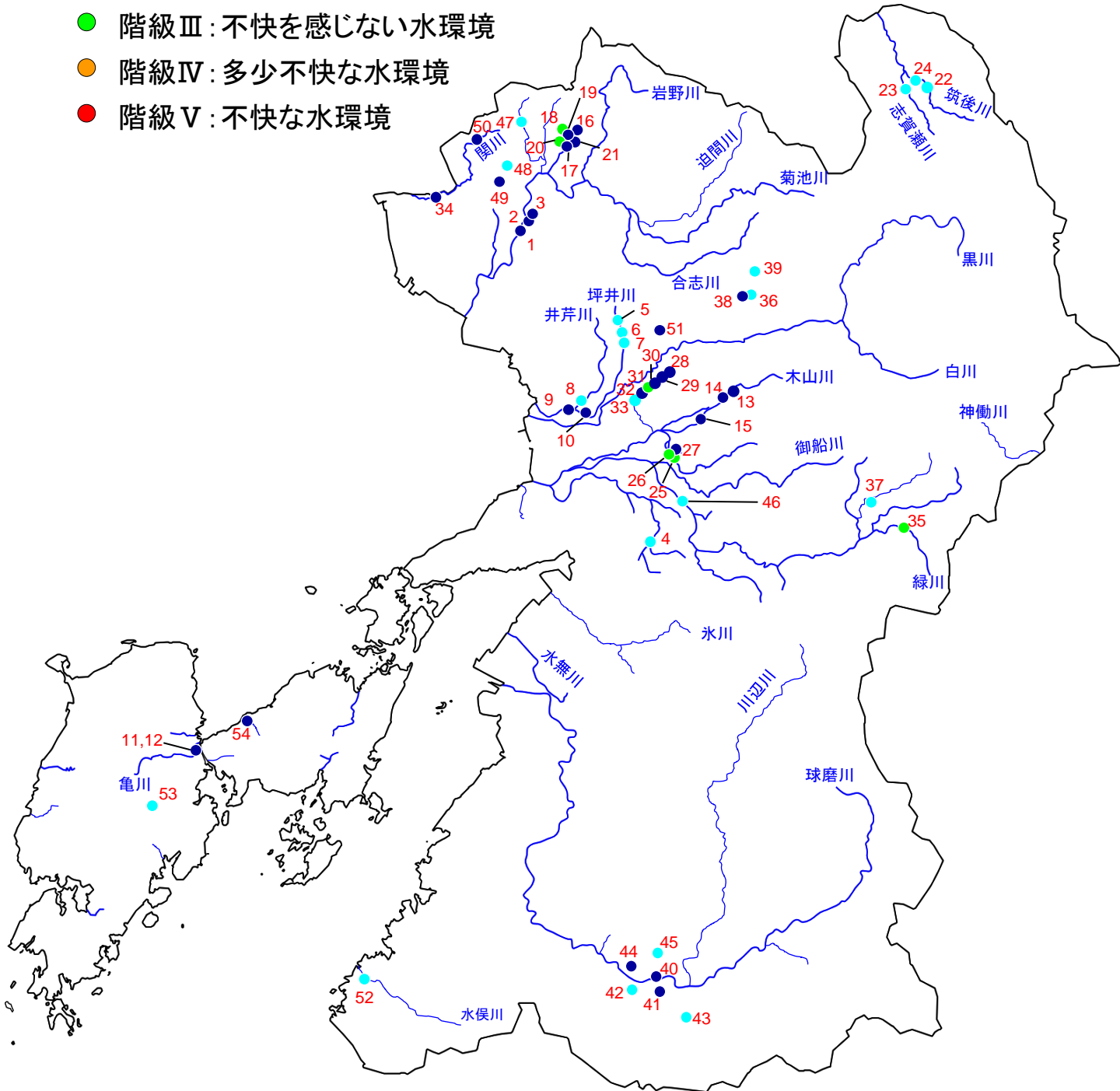


図 I - 1 水質評価結果マップ

- 階級Ⅰ：快適な水環境
- 階級Ⅱ：親しめる水環境
- 階級Ⅲ：不快を感じない水環境
- 階級Ⅳ：多少不快な水環境
- 階級Ⅴ：不快な水環境

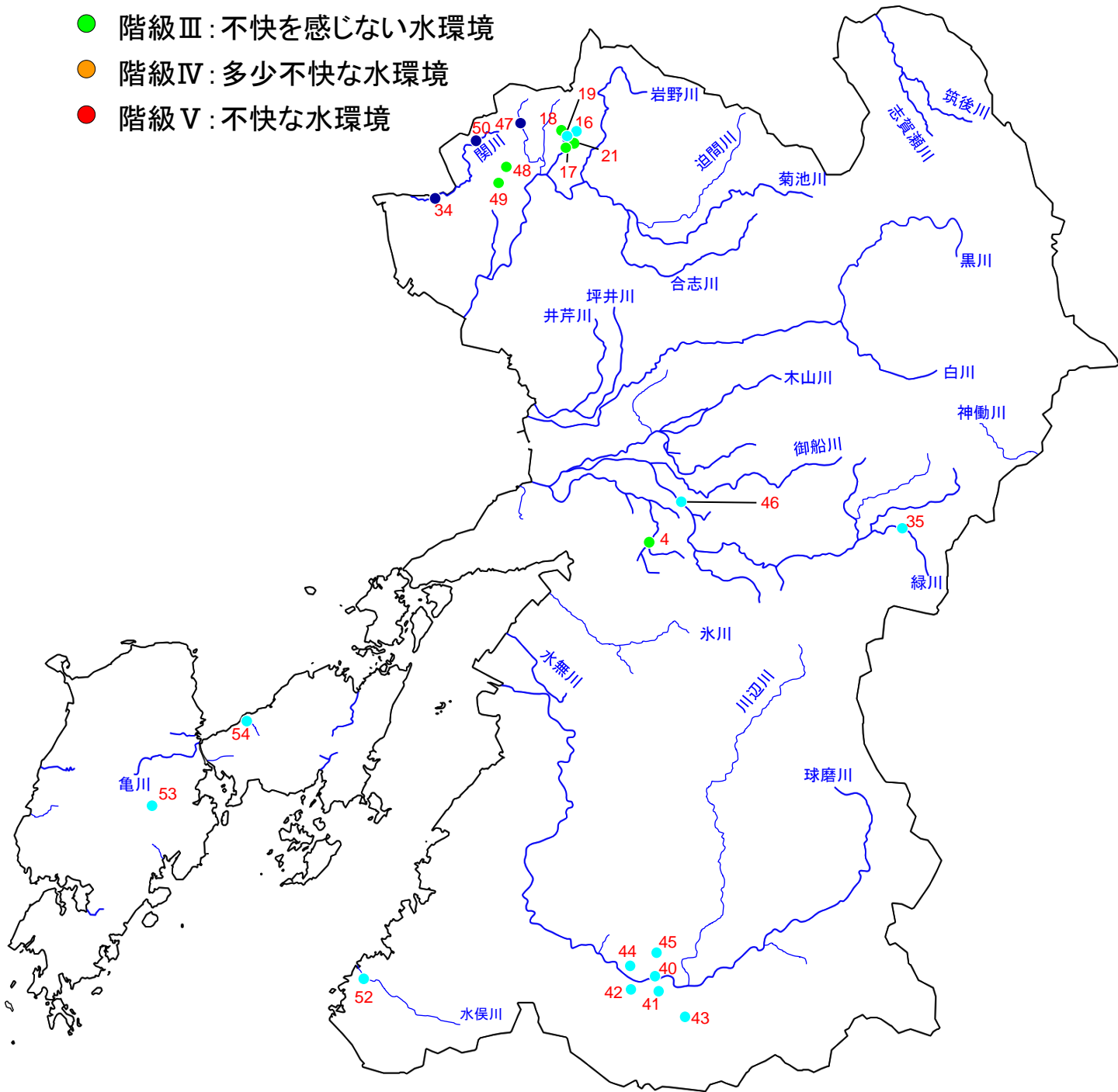


図 I - 2 指標生物評価結果マップ

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

No. 1

調査河川名	菊池川へ流れ出る排水路、(水系 菊池川)		
調査地点名	(取水場所) コミュニティセンター排水路付近		
調査団体名	和木町大江田子ども会。大江田地域資源保全隊		
代表者名		参加人数	約25人
連絡先住所			
調査年月日	平成28年8月7日(日)	調査時間	8:50 ~ 10:00
調査日天候	晴れ	気温	35.6℃、日陰で34℃

## 1、調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1、 <small>けいりゅういき</small> 渓流域	②、 <small>さんかんりゅういき</small> 山間流域	3、 <small>へいちりゅういき</small> 平地流域
B. 川の背景	1、森林	②、畑・水田	3、市街地
	①評価基礎点 (2.0+2.0)/2= 2.0点		階級 III

## 2、水質を調べる

水温	22 °C		
a. 水の色	①、無色	2、緑茶色	3、白・灰・黒色
b. 水の臭い	①、無臭		3、臭いあり
c. 透視度	①、80cm以上	2、60cm以上	3、60cm未満
d. pH	①、6.5~8.5	2、6.4以下	3、8.6以上
e. COD	①、5.0mg/L未満		3、5.0mg/L以上
	2, 水質評価点 (1+1+1+1)/5=1.0点		階級 (I)
	総合評価点 (4点+5点)/7=1.3点		総合階級 (II)

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の 快適さ	①評価の 基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる 水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じな い水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
IV	多少不快な 水環境	2.5	2.0	2.0
			2.2	2.2
V	不快な水環境	3.0	2.4	2.4
			2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

## 昨年と今年の比較

	2014年	2015年	2016年
1			
A	2	2	2
B	2	2	2
平均	2点	2点	2点
2			
a	2	1	1
b	1	1	1
c	3	1	1
d	1	1	1
e	3	3	1
平均	2点	1.4点	1.3点
水温	25.5℃	27℃	22℃

## 子ども達の感想

2015年	2016年
この水は汚い と思っていた けど以外と綺麗 だった。	この水は綺麗だっ た。魚はいなかつ たけど虫がいた。 水は、以外と冷た かった。

講師 大江田地域資源保全隊代表

協力者、大江田区子ども会、保全隊



# 川の水環境調査記録用紙(その1)

No. 2

調査河川名	菊池川へ流れ出る排水路、(水系 菊池川)		
調査地点名	(取水場所) コーポ坂本西側用排水路付近		
調査団体名	和水町大江田子ども会。大江田地域資源保全隊		
代表者名		参加人数	約25人
連絡先住所			
調査年月日	平成28年8月7日(日)	調査時間	8:50 ~ 10:00
調査日天候	晴れ	気温	35, 6℃、日陰で34℃

## 1、調査地点の様子を調べる

A, 川の地形	1、 <small>けいりゅういき</small> 渓流域	②、 <small>さんかんりゅういき</small> 山間流域	3、 <small>へいちりゅういき</small> 平地流域
B, 川の背景	1、森林	②、畑・水田	3、市街地
	①評価基礎点 (2.0+2.0)/2= 2.0点 階級 III		

## 2、水質を調べる

水温	26 °C		
a, 水の色	①、無色	2、緑茶色	3、白・灰・黒色
b, 水の臭い	①、無臭 3、臭いあり		
c, 透視度	①、80cm以上	2、60cm以上	3、60cm未満
d, pH	①、6.5~8.5	2、6.4以下	3、8.6以上
e, COD	①、5.0mg/Lm未満 3、5.0mg/L以上		
	2, 水質評価点(1+1+1+1)/5=1.0点 階級 (I)		
	総合評価点 (4点+5点)/7=1.3点 総合階級 (II)		

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の 快適さ	①評価の 基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1, 0	1, 0	1, 0
II	親しめる 水環境	1, 5	1, 2	1, 2
			1, 4	1, 4
III	不快を感じな い水環境	2, 0	1, 6	1, 6
			1, 8	1, 8
IV	多少不快な 水環境	2, 5	2, 0	2, 0
			2, 2	2, 2
V	不快な水環境	3, 0	2, 4	2, 4
			2, 6	2, 6
			2, 8	2, 8
			3, 0	3, 0

## 昨年と今年の比較

	2014年	2015年	2016年
1			
A	2	2	2
B	2	2	2
平均	2点	2点	2点
2			
a	2	1	1
b	1	1	1
c	3	1	1
d	1	1	1
e	3	3	1
平均	2点	1, 6点	1, 3点
水温	25,5℃	27℃	26℃

## 子ども達の感想

2015年	2016年
綺麗だと思った ら、汚かった。	水を汲むのが大変 だった。それと、取水 場所の溜んでいる所 のサンプル水は魚の 死体の臭いがして とても臭かった。

講師 大江田地域資源保全隊代表

協力者、大江田区子ども会、保全隊、

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

No 3

調査河川名	菊池川へ流れ出る排水路、(水系 菊池川)		
調査地点名	(取水場所) 大江田樋管場付近排水路		
調査団体名	和水町大江田子ども会。大江田地域資源保全隊		
代表者名		参加人数	約25人
連絡先住所			
調査年月日	平成28年8月7日(日)	調査時間	8:50 ~ 10:00
調査日天候	晴れ	気温	35.6℃、日陰で34℃

## 1、調査地点の様子を調べる

A, 川の地形	1、 <small>けいりゅういき</small> 渓流域	②、 <small>さんかんりゅういき</small> 山間流域	3、 <small>へいちりゅういき</small> 平地流域
B, 川の背景	1、森林	②、畑・水田	3、市街地
①評価基礎点 (2.0+2.0)/2= 2.0点 階級 III			

## 2、水質を調べる

水温	26 °C			
a, 水の色	①、無色	2、緑茶色	3、白・灰・黒色	
b, 水の臭い	①、無臭		3、臭いあり	
c, 透視度	①、80cm以上	2、60cm以上	3、60cm未満	
d, pH	①、6.5~8.5	2、6.4以下	3、8.6以上	
e, COD	①、5.0mg/L未満		3、5.0mg/L以上	
2、水質評価点(1+1+1+1+1)/5=1.0点 階級 (I)				
総合評価点 (4点+5点)/7=1.3点 総合階級 (II)				
水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の 快適さ	①評価の 基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる 水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じな い水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
IV	多少不快な 水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

## 昨年と今年の比較

	2014年	2015年	2016年
1			
A	2	2	2
B	2	2	2
平均	2点	2点	2点
2			
a	2	1	1
b	1	1	1
c	3	1	1
d	1	1	1
e	3	3	3
平均	2点	1.4点	1.3点
水温	25.5℃	27℃	26℃

## 子ども達の感想

2015年	2016年
思ってたよりも汚かった。	変な物が浮いて来て(除草片)汚い水と思ったが、調べたら綺麗だったので魚とかがいるんだなと思った。(この日は、農家水路管理日の作業あり)

講師 大江田地域資源保全隊代表

協力者、大江田区子ども会、保全隊、

川(かわ)及び(および)排水路(はいすいろ)の水質調査総括表(すいしつちようきそうかつひよう)

調査河川名 菊池川水系  
 調査団体名 大江田地域資源保全隊  
 和水町大江田子ども会  
 代表者 保全隊 子ども会  
 講師 保全隊代表  
 連絡先  
 調査年月日 平成28年8月7日(日) 8:50~10:00  
 天候 晴れ 参加人員 子ども 12人、大人13人、合計 25人

調査河川名	菊池川水系
調査団体名	大江田地域資源保全隊 和水町大江田子ども会
代表者	保全隊 子ども会
講師	保全隊代表
連絡先	
調査年月日	平成28年8月7日(日) 8:50~10:00
天候	晴れ
参加人員	子ども 12人、大人13人、合計 25人

A 川の地形 1、溪流域2、山間地域 3、平地地域  
 B 川の背景 1、森林 2、畑・水田 3、市街地  
 評価基礎点 評価基礎点 (A+B)/ 2=2点 Ⅲ階級

気温 34℃(コミュニティセンターの軒下にて)  
 水温 22 ~ 26℃

a 水の色 1、無色 2、緑茶色 3、白・灰・黒色  
 b 水の臭い 1、無臭 3、臭いあり  
 c 透視度 1、80cm以上 2、60cm以上 3、60cm未満  
 d PH 1、6, 5~8, 5 2、6, 4以下 3、8, 6以上  
 備考 水素(すいそ)のイオン濃度(のうど)を調べます。(酸性・中性・アルカリ性)  
 e COD 1、5, 0mg/L未満 3、5, 0mg/L以上  
 備考 値が大い程、水中のゆうき 有機物が多く含まれている。  
 ② 水質評価点 (a+b+c+d+e)/5=1, 0 I 段階

1、子ども達が感じたままを右側に代筆記入しました。(一部修正あり)  
 2、今年はこのところ晴天続きで水が澄み切り、案外と良い結果得られる。  
 3、子ども達は、一生懸命自主的に取り組んでくれました。ただ、経験豊富な上級生が抜けて助手的な下級生が主体に取り組みに変化が発生した事で、取水箇所にも変化、変更が発生が後からわかった。  
 4、PH-GODの測定は子ども達にかなりの人気あり。

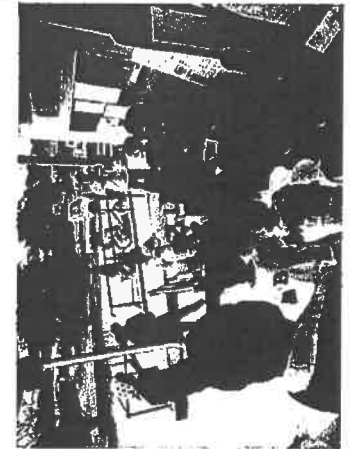
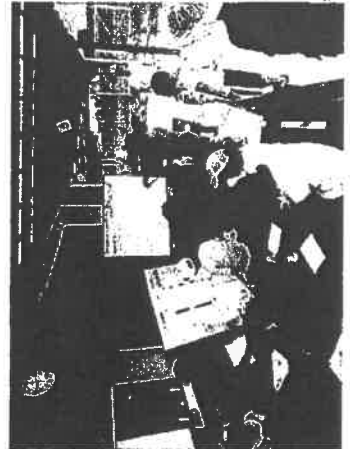
コミュニティセンター 取り付け 道路 排水路 付近	2	平均値 2
コーポ 坂本西側 用排水路 付近	2	2
菊池川 樋門場 付近の 排水路	2	2点 平均値 34℃? 24, 7℃

1	1	平均値 1, 0
1	1	1, 0
1	1	1, 0
1	1	1, 0
1	1	1, 0
1, 0点	1, 0点	1, 0点

水は、きれい、サンプル水と  
 思った。魚は泳む箇所  
 いなかった。臭いに変  
 化があった。大人の参  
 加者も多かった。変  
 化発生あり

水は、きれい、サンプル水と  
 思った。魚は泳む箇所  
 いなかった。臭いに変  
 化があった。大人の参  
 加者も多かった。変  
 化発生あり

水は、きれい、サンプル水と  
 思った。魚は泳む箇所  
 いなかった。臭いに変  
 化があった。大人の参  
 加者も多かった。変  
 化発生あり



# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	沢川 (水系 緑川)		
調査地点名	宇城市 豊野町 山崎		
調査団体名	豊野町 みどりの少年団		
代表者名	参加人数	11 人	
連絡先住所			
調査年月日	H28. 9.10 (土)	調査時間	9:30
調査日天候	晴れ	気温	25.8℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

## 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	② 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 2.5 点 階級 <b>N</b>			

$$5 \div 2 = 2.5$$

## 2. 水質を調べる

水温	24.0℃		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭		3. 臭いあり
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	③ 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.4 点 階級 <b>II</b>			

$$7 \div 5 = 1.4$$

## 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	草瀬	③ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	② 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	② メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	② 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 2.0 点 階級 <b>III</b>			

$$10 \div 5 = 2$$

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

カムシ

カマシ

フミ

ハエの子

ヤゴ

今年は、足車地帯のため

9/29にグリーン作戦を行って

いらいで、トクン板や鉄の棒

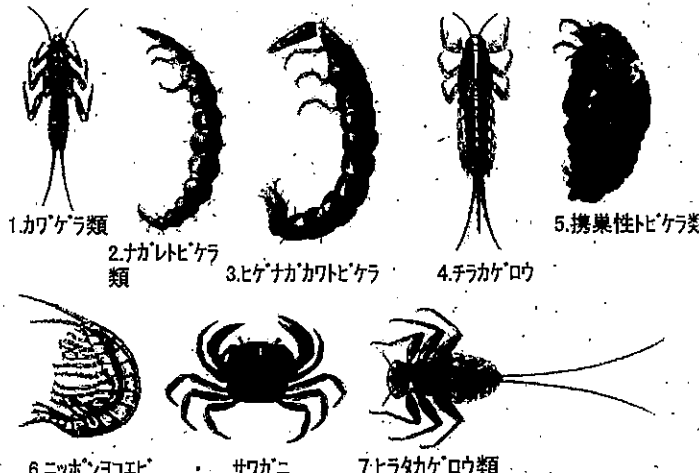
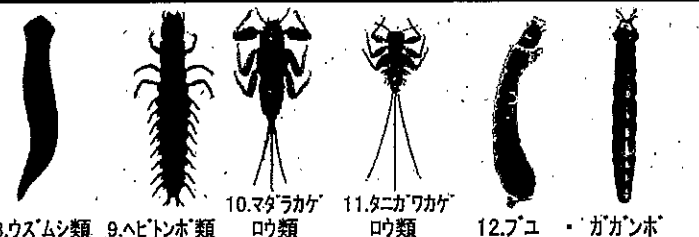
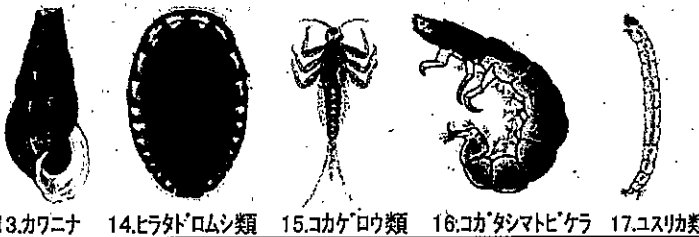

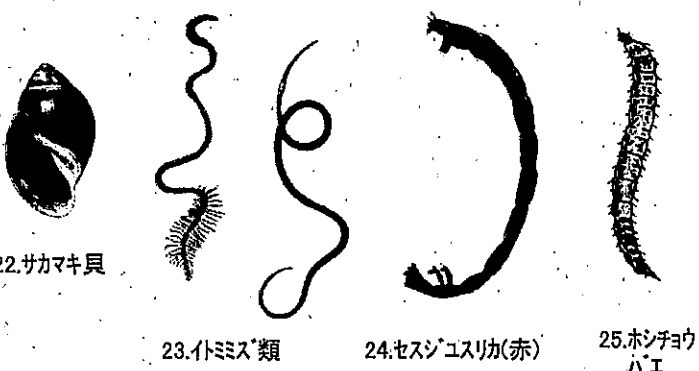
などが川の中に入っていた。

年 組 名前

# 川の水環境調査記録用紙(その2)

No. \_\_\_\_\_

## 4. 底生動物を調べる

階級	No. <small>しひょうせいぶつめい</small> 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快速な水環境 (I) 	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II) 	8. ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類		●			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III) 	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドROMシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV) 	18. 貝類				○	
	19. サホコカゲロウ				○	
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類				○	
	不快な水環境 (V) 	22. サカマキ貝				
23. イトミズ類						
24. セスジユスリカ(赤)						
25. ホシチョウバエ						
得点の集計		出現した種の数(○+●)	2	2	5	3
	最も多い種の数(●)		1			
	得点の合計	2	3	5	3	0
底生動物による川の水環境評価の判定		III				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	坪井川 (水系)		
調査地点名	栄橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	_____	参加人数	9人
連絡先住所	_____		
調査年月日	平成28年9月3日	調査時間	8:50
調査日天候	曇り	気温	28.1 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

## 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2 点 階級 III			

## 2. 水質を調べる

水温	21.0 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1 点 階級 I			

## 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらた 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.0 点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

- ・腐敗した泥が見られ、藻類が多く確認された。
- ・川の水は澄んでいて川の底がよく見えていた
- ・落ち葉や枝が多く流れていた。

年 組 名前

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	梶尾川 (水系)		
調査地点名	北部坪井橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	9人	
連絡先住所			
調査年月日	平成28年9月3日	調査時間	9:10
調査日天候	曇り	気温	28.1℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

## 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点 階級 IV			

## 2. 水質を調べる

水温	24.2℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1 点 階級 I			

## 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらた 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.8 点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

・水中に藻類がたくさん生えている箇所があった。

・川の流りが非常に穏やかだった。

年 組 名前

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	坪井川 (水系)		
調査地点名	鶴羽田橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	9人	
連絡先住所			
調査年月日	平成28年9月3日	調査時間	8:40
調査日天候	曇り	気温	28.1℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

## 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)÷2= 2 点 階級 III			

## 2. 水質を調べる

水温	22.6℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)÷5= 1 点 階級 I			

## 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)÷5= 1.8 点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくその後で便利です。

- ・目立ったゴミも無く、良好な水質だった。
- ・水も透き通っていて川の底が確認できた。
- ・水中に植物がたくさん生えていた。

年 組 名前



# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	坪井川 (水系 )		
調査地点名	平成大橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	7人	
連絡先住所			
調査年月日	平成28年9月22日	調査時間	9:15
調査日天候	曇/雨	気温	22.0℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

## 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)÷2= 3点 階級 V			

## 2. 水質を調べる

水温	22.7℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)÷5= 1.0点 階級 I			

## 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	3. 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)÷5= 1.8点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

・連日の雨の影響による土砂の混入等で川が濁り、透明度の低下が心配されたが、増水や流速が早くもなく、きれいで穏やかな状態であった。

・周辺には小鳥たちが飛び舞い、川の中は鯉たちも優雅に泳いでいた。

年 組 名前

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	坪井川 (水系 )		
調査地点名	高橋稲荷大橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	7人	
連絡先住所			
調査年月日	平成28年9月22日	調査時間	9:20
調査日天候	曇/雨	気温	22.0℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

### 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 2. 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)÷2= 3点 階級 V	

### 2. 水質を調べる

水温	20.6 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)÷5= 1.4点 階級 II			

### 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)÷5= 2.0点 階級 III	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

- ・川の中は鯉たちが優雅に泳いでいた。
- ・普段通りの水の量で、ゆっくりと流れ、水も澄んで川底が見えていた。

年 組 名前

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	井芹川 (水系 )		
調査地点名	第1池上橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	7人	
連絡先住所			
調査年月日	平成28年9月22日	調査時間	9:30
調査日天候	曇/雨	気温	22.0℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

### 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 2. 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 3点 階級 V	

### 2. 水質を調べる

水温	20.8 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.4点 階級 II			

### 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.6点 階級 II	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

・普段通りの水の量でゆっくりと流れ、水も澄んで川底が見えていた。

年 組 名前

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	亀川 (水系)		
調査地点名	明亀橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	16人	
連絡先住所			
調査年月日	平成28年9月10日	調査時間	7:30
調査日天候	晴れ	気温	21.0 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

## 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	③ 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 3 点 階級 V			

## 2. 水質を調べる

水温	22.5 °C		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	③ 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.4 点 階級 II			

## 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	③ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	③ 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	② メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.8 点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

・ハゼ、蟹、鯉が生息していて良好な水質だと思われる。

年 組 名前

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	亀川 (水系)		
調査地点名	樋渡橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	16人	
連絡先住所			
調査年月日	平成28年9月10日	調査時間	7:30
調査日天候	晴れ	気温	21.0℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
			2.0	2.0
IV	多少不快な水環境	2.5	2.2	2.2
			2.4	2.4
V	不快な水環境	3.0	2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

## 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	② 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	② 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)÷2= 2.0 点 階級 III			

## 2. 水質を調べる

水温	22.5℃		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	③ 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)÷5= 1.4 点 階級 II			

## 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	② ひっせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	③ 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	② メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② すなどろ 砂泥	3. どろ ふはい 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)÷5= 1.8 点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくで後で便利です。

- ・昨年度よりゴミが増えていた。
- ・ハゼ、蟹、鯉が生息していて良好な水質だと思われる。

年 組 名前

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	木山川 (水系)		
調査地点名	津毛里橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	13人	
連絡先住所			
調査年月日	平成28年10月30日	調査時間	9:15
調査日天候	晴れ	気温	25.0 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2 1.4 1.6	1.2 1.4 1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8 2.0 2.2	1.8 2.0 2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4 2.6	2.4 2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8 3.0	2.8 3.0

## 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	② 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	② 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2= 2.0点 階級 III			

## 2. 水質を調べる

水温	15.0 °C
a. 水の色	① 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	① 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満 ③ 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5= 1.4 点 階級 II	

## 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 ③ 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 ③ 沈み石
g. 石の大きさ	① すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし ② 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5= 1.6 点 階級 II	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

・魚が生息していた。

・水が無色で透視度も80cm以上で

良好だった。

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	木山川 (水系)		
調査地点名	第二平田橋橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名		参加人数	13人
連絡先住所			
調査年月日	平成28年10月30日	調査時間	9:30
調査日天候	晴れ	気温	26.0 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2 1.4 1.6	1.2 1.4 1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8 2.0 2.2	1.8 2.0 2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4 2.6	2.4 2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8 3.0	2.8 3.0

## 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	① 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	② 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 1.5点 階級 II			

## 2. 水質を調べる

水温	16.0 °C		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	③ 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.4 点 階級 II			

## 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	③ ひらた 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	③ 沈み石	
g. 石の大きさ	① すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② すなどろ 砂泥	3. どろ ふはい 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.6 点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

・川の水が若干濁っていたが透視度は

80cm以上みられ、良好だった。

・草が結構生えていた

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	木山川 (水系)		
調査地点名	五楽橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	13人	
連絡先住所			
調査年月日	平成28年10月30日	調査時間	10:00
調査日天候	晴れ	気温	26.0 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2 1.4 1.6	1.2 1.4 1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8 2.0 2.2	1.8 2.0 2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4 2.6	2.4 2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8 3.0	2.8 3.0

## 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	① 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	② 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 1.5点 階級 II			

## 2. 水質を調べる

水温	17.0 °C		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	③ 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.4 点 階級 II			

## 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	③ ひらば 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	③ 沈み石	
g. 石の大きさ	① すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② すなごろ 砂泥	3. どろ ふはい 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.6 点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

・川の水は濁っていたが透視度は

80cm以上みられ、良好だった。

・魚が多く生息していた。

・草が沢山生えていた。



# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	岩村川 (水素 菟池川)		
調査地点名	①		
調査団体名	平小城 小学校		
代表者名	参加人数	10 人	
連絡先住所			
調査年月日	H28.10.4	調査時間	10:20
調査日天候	くもり	気温	28.1℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

### 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 ② 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 ② 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 2 点 階級 III	

### 2. 水質を調べる

水温	21.5℃
a. 水の色	① 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上 2. 60cm以上 ③ 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.4 点 階級 II	

### 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	草瀬 梁瀬
f. 石の状態	① 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン ③ みかん
h. 堆積物の種類	1. なし ② 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 2 点 階級 III	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

# 川の水環境調査記録用紙(その2)

No. \_\_\_\_\_

## 4. 底生動物を調べる

階級	No. <small>しひょうせいぶつがい</small> 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快 適 な 水 環 境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	●				
親 し め る 水 環 境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
	13. カワニナ					
不 快 を 感 じ な い 水 環 境 (III)	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
	18. 貝類				○	
多 少 不 快 な 水 環 境 (IV)	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
	22. サカマキガイ					
不 快 な 水 環 境 (V)	23. イトミズ類					
	24. セスジュスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	1	1		1
	最も多い種の数(●)	1				
得点の合計		2	1		1	
底生動物による 川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	岩村川 (水系 菟池川)		
調査地点名	②		
調査団体名	平小城 小学校		
代表者名	参加人数	10 人	
連絡先住所			
調査年月日	H28.10.4	調査時間	10:40
調査日天候	くもり	気温	28.5 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

### 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 ② 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 ② 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 2 点 階級 IV	

### 2. 水質を調べる

水温	24.0 °C
a. 水の色	① 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上 2. 60cm以上 ③ 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.4 点 階級 II	

### 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	草叢 ② 笹
f. 石の状態	1. 浮き石 ③ 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか ② メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし ② 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない ② 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 2 点 階級 III	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

年 組 名前

# 川の水環境調査記録用紙(その2)

No. \_\_\_\_\_

## 4. 底生動物を調べる

階級	No. <small>しりょうせいぶつがい</small> 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快 適 な 水 環 境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親 し め る 水 環 境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
	13. カワニナ					
不 快 を 感 じ な い 水 環 境 (III)	14. ヒラタドムシ			●		
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)					
	18. 貝類					○
多 少 不 快 な 水 環 境 (IV)	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
不 快 な 水 環 境 (V)	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	1	1	2	1
	最も多い種の数(●)			1		
	得点の合計		1	1	3	1
底生動物による 川の水環境評価の判定		III				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	岩村川 (水系 菟池川)		
調査地点名	③		
調査団体名	平小城 小学校		
代表者名	参加人数	10 人	
連絡先住所			
調査年月日	H28.10.4	調査時間	10:20
調査日天候	くもり	気温	28.0 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

## 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 ② 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 ② 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 2 点 階級 II	

## 2. 水質を調べる

水温	24.5 °C
a. 水の色	1. 無色 2. 緑茶色 ③ 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上 2. 60cm以上 ③ 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.8 点 階級 III	

## 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	草瀬 ③ 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 ③ 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか ② メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし ② 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 ② 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 2 点 階級 III	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

# 川の水環境調査記録用紙(その2)

No. \_\_\_\_\_

## 4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	●				
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワナ					
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)					
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					○
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					○
	22. サカマキ貝					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	1	1	2	2
	最も多い種の数(●)	1				
	得点の合計	2	1	2	2	
底生動物による川の水環境評価の判定		III				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	岩村川 (水系 荒池川)		
調査地点名	④		
調査団体名	平小城 小学校		
代表者名	参加人数	10 人	
連絡先住所			
調査年月日	H28.10.4	調査時間	10:40
調査日天候	くもり	気温	28.5 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

### 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 ② 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 ② 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点	$(A+B)/2 = 2$ 点 階級 III

### 2. 水質を調べる

水温	24.8 °C
a. 水の色	① 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上 ② 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上
②水質評価点	$(a+b+c+d+e)/5 = 1.2$ 点 階級 II

### 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	草瀬 ②
f. 石の状態	1. 浮き石 ③ 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか ② メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし ② 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 ② 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない ② 多い 3. マット状
③川底評価点	$(f+g+h+i+j)/5 = 2.2$ 点 階級 III

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

年 組 名前

# 川の水環境調査記録用紙(その2)

No. \_\_\_\_\_

## 4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類	●				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
	13. カワニナ					
不快を感じない水環境 (III)	14. ヒラタドROMシ					
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
	18. 貝類					
多少不快な水環境 (IV)	19. サホコカゲロウ				○	
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					○
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	2	1	1	1
	最も多い種の数(●)	1				
	得点の合計	3	1	1	1	
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。



# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	岩村川 (水系 菟池川)		
調査地点名	⑤		
調査団体名	平小城 小学校		
代表者名	参加人数	10 人	
連絡先住所			
調査年月日	H28.10.4	調査時間	11:00
調査日天候	くもり	気温	29.0 °C

階級	水環境の 快適さ	①評価の 基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる 水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない 水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な 水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

### 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 ② 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 ② 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 =	2 点 階級 II

### 2. 水質を調べる

水温	27.2 °C
a. 水の色	1. 無色 ② 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭 ③ 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上 ② 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5 3. 6.4以下 ③ 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 =	2.2 点 階級 III

### 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	草藪 ③
f. 石の状態	1. 浮き石 ③ 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン ③ みかん
h. 堆積物の種類	1. なし 2. 砂泥 ③ 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない ② 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 =	2.4 点 階級 IV

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

メダカが 13.

底生生物は見つからない

年 組 名前

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	岩村川 (氷系 菟池川)		
調査地点名	⑥		
調査団体名	平小城 小学校		
代表者名	参加人数	10 人	
連絡先住所			
調査年月日	H28.10.4	調査時間	11:00
調査日天候	くもり	気温	28.9 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

### 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 ② 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 ② 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 2 点 階級 III	

### 2. 水質を調べる

水温	21.8 °C
a. 水の色	① 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上 2. 60cm以上 ③ 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.4 点 階級 II	

### 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	草叢 ③ 草叢
f. 石の状態	1. 浮き石 ③ 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか ④ メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし ② 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 1.8 点 階級 III	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

年 組 名前

# 川の水環境調査記録用紙(その2)

No. \_\_\_\_\_

## 4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快 適 な 水 環 境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類					
親 し め る 水 環 境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類	●				
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不 快 を 感 じ な い 水 環 境 (III)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水 多 少 不 快 な 水 環 境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ				○	
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類				○	
不 快 な 水 環 境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)		1	2	2
	最も多い種の数(●)		1			
	得点の合計		2	2	2	
底生動物による 川の水環境評価の判定		III				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

No. 22

調査河川名	杖立川 (水系 筑後川)		
調査地点名	小国町宮原 宮ノ下		
調査団体名	ざまむね座		
代表者名		参加人数	5 人
連絡先住所			
調査年月日	平成28年8月6日	調査時間	14:10
天候	晴れ	気温	31.3 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	10	10	10
II	少ししめる水環境	15	12	12
			14	14
III	不快を感ぜない水環境	20	16	16
			18	18
IV	多少不快な水環境	25	20	20
			22	22
V	不快な水環境	30	24	24
			26	26
			28	28
			30	30

### 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	② 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	③ 市街地
①. 評価基礎点 (A+B)/2 = 2.5 点 IV 階級			

### 2. 水質を調べる

水温	22.6 °C		
a. 水の色	1	1. 無色	2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1	1. 無臭	3. 臭いあり
c. 透明度	1	1. 80cm以上	2. 60cm以上 3. 60cm未満
d. PH	1	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下、8.6以上
e. COD	1	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上
②. 水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.0 点 I 階級			

### 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	① 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石	③ 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか	② メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色	2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	② 多い 3. マット状
③. 川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 2.0 点 III 階級		

※ 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなき、水辺の草木の状況、魚がいたか、鳥がいたか、ごみがあつたか、何でも気づいたことがあつたら書き止めておくことべり後で便利です。

年 組 名前

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

No. 23

調査河川名	志賀瀬川 (水素 筑後川)		
調査地点名	小国町宮原 関田		
調査団体名	ざまむね座		
代表者名		参加人数	5 人
連絡先住所			
調査年月日	平成28年8月6日	調査時間	14:20
天候	晴れ	気温	31.5 °C

階級	水環境の快適さ	① 評価の基礎点	② 水質		③ 川底	
			水質	川底	水質	川底
I	快適な水環境	10	10	10	10	10
II	少しめめる水環境	15	12	12	12	12
			14	14	14	14
			16	16	16	16
III	不快を感じない水環境	20	18	18	18	18
			20	20	20	20
			22	22	22	22
IV	多少不快な水環境	25	24	24	24	24
			26	26	26	26
V	不快な水環境	30	28	28	28	28
			30	30	30	30

## 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	② 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	② 畑・水田	3. 市街地
①. 評価基礎点 (A+B)/2 = 2.0 点 III 階級			

## 2. 水質を調べる

水温	21.2 °C		
a. 水の色	1	1. 無色	2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1	1. 無臭	3. 臭いあり
c. 透明度	1	1. 80cm以上	2. 60cm以上 3. 60cm未満
d. PH	1	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下, 8.6以上
e. COD	1	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上
②. 水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.0 点 I 階級			

## 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	① 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石	③ 洗み石
g. 石の大きさ	① すいか	2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色	2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	② 多い 3. マット状
③. 川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 1.8 点 III 階級		

写真 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、水辺の草木の状況、魚がいたか、鳥がいたか、ごみがあつたか、何でも気づいたことがあつたら書き止めておくと後で便利です。

年 組 名前

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

No. 24

調査河川名	杖立川 (水郷 筑後川)		
調査地点名	小国町宮原 柏田		
調査団体名	ざまむね座		
代表者名		参加人数	5 人
連絡先住所	( )		
調査年月日	平成28年8月6日	調査時間	14:30
天候	晴れ	気温	31.5 °C

階級	水環境の快適さ	①評定の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	10	10	10
II	続しめる水環境	15	12	12
			14	14
III	不快を感しない水環境	20	16	16
			18	18
IV	多少不快な水環境	25	20	20
			22	22
V	不快な水環境	30	24	24
			26	26
			28	28
			30	30

## 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	③ 市街地
①. 評価基礎点 (A+B)/2 = 3.0 点 V 階級			

## 2. 水質を調べる

水温	20.6°C	
a. 水の色	1	1. 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1	1. 無臭 3. 臭いあり
c. 透明度	1	1. 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満
d. PH	1	1. 6.5~8.5 3. 6.4以下, 8.6以上
e. COD	1	1. 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上
②. 水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.0 点 I 階級		

## 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	① 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石	③ 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか	② メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色	2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない	2. 多い 3. マット状
③. 川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 1.8 点 III 階級		

写真 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなき、水辺の草木の状況、魚がいたか、鳥がいたか、ごみがあつたか、何でも気づいたことがあつたら書き止めておくと便利です。

年 組 名前

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

No. 25

調査河川名	矢形川 (深業緑川)		
調査地点名	嘉島町北甘木(石塚橋下流右岸)		
調査団体名	北甘木活動組織(北甘木親子会)		
代表者名		参加人数	3/人
連絡先住所			
調査年月日	H28年8月7日	調査時間	8時
調査日天候	晴	気温	30.1℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

## 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 ③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 ② 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 =	2.5 点 階級

## 2. 水質を調べる

水温	26℃
a. 水の色	① 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上 2. 60cm以上 ③ 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満 ③ 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 =	7.8 点 階級

## 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	草瀬 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 =	7.8 点 階級

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

No. 26

調査河川名	天水川 (深葉緑川)		
調査地点名	嘉島街北甘木(天水川3号橋下流右岸)		
調査団体名	北甘木活動組織(北甘木親子会)		
代表者名		参加人数	3/ 人
連絡先住所			
調査年月日	H28年8月7日	調査時間	8時
調査日天候	晴	気温	30.1℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
IV	多少不快な水環境	2.5	2.0	2.0
			2.2	2.2
V	不快な水環境	3.0	2.4	2.4
			2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

## 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 ③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 ② 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点	(A+B)/2 = 2.5 点 階級

## 2. 水質を調べる

水温	27℃
a. 水の色	① 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上 2. 60cm以上 ③ 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満 ③ 5.0mg/L以上
②水質評価点	(a+b+c+d+e)/5 = 7.8 点 階級

## 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	草溝 平溝
f. 石の状態	1. 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点	(f+g+h+i+j)/5 = 点 階級

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

年 組 名前



# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	千原ため池 (水堀)		
調査地点名	嘉島町北甘木 (双子塚地区)		
調査団体名	北甘木活動組織 (北甘木親子会)		
代表者名		参加人数	21 人
連絡先住所			
調査年月日	H28年8月7日	調査時間	8時
調査日天候	晴	気温	30.1 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
			2.0	2.0
IV	多少不快な水環境	2.5	2.2	2.2
			2.4	2.4
V	不快な水環境	3.0	2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

## 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 ③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 ② 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 =	2.5 点 階級

## 2. 水質を調べる

水温	29 °C
a. 水の色	1. 無色 ② 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上 2. 60cm以上 ③ 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5 ③ 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満 ③ 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 =	2.4 点 階級

## 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	草瀬 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なじ 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 =	点 階級

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

年 組 名前

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	藤巻塚川 (水系 緑川)		
調査地点名	八反田3丁目 西日本病院近く		
調査団体名	藤巻塚川をきれいにする会		
代表者名	参加人数	6人	
連絡先住所			
調査年月日	平成28年10月28日	調査時間	午前10時
調査日天候	小雨	気温	20℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
IV	多少不快な水環境	2.5	2.0	2.0
			2.2	2.2
V	不快な水環境	3.0	2.4	2.4
			2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

### 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	③ 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 3 点 階級			

### 2. 水質を調べる

水温	18℃		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	③ 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.4 点 階級			

### 3. 川底を調べる

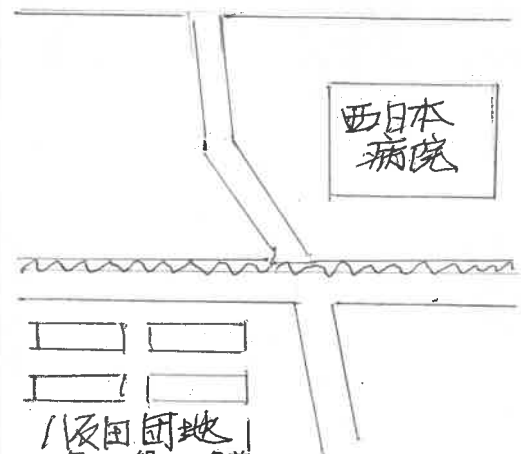
(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 草瀬	③ ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	③ 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	③ みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② すなごろ 砂泥	3. どろ ふはい 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 2 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

東区八反田3丁目  
西日本病院付近

藤巻西小



八反田団地  
年組名前

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	葉器場川 (水系 箱川)		
調査地点名	大副田丁二丁目		
調査団体名	葉器場川をきれいにする会		
代表者名	参加人数	6人	
連絡先住所			
調査年月日	H28.10.28	調査時間	AM10時
調査日天候	雨天	気温	20℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			①.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			2.0	②.0
IV	多少不快な水環境	2.5	1.8	1.8
			2.2	2.2
V	不快な水環境	3.0	2.4	2.4
			2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

### 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	③ 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 2.5 点 階級			

### 2. 水質を調べる

水温	20℃		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	③ 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.4 点 階級			

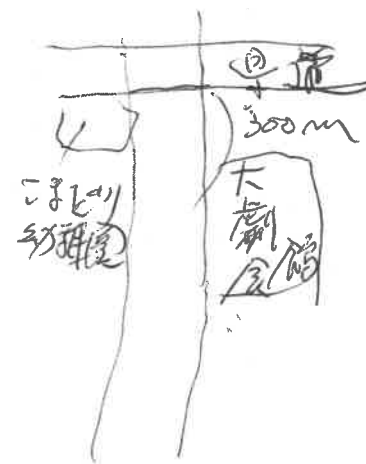
### 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	③ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	③ 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	③ みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 2.0 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

記述可河内



年 組 名前

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	藤巻川 (水系 緑川)		
調査地点名	鉄工団地横街西原橋の下		
調査団体名	藤巻川をきれいにする会		
代表者名		参加人数	6人
連絡先住所			
調査年月日	H28.10.28	調査時間	午前10時
調査日天候	雨天	気温	20℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

### 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	③ 市街地
①評価基礎点 (A+B)÷2 = 3点 階級			

### 2. 水質を調べる

水温	20℃		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	③ 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)÷5 = 1.4点 階級			

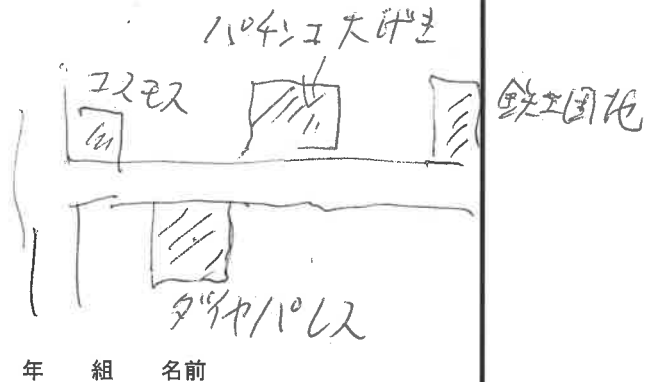
### 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	③ 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	③ みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	③ 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)÷5 = 3点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

西原5丁目  
鉄工団地横街  
ダイヤハウス横



2.4

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	藤巻川 (水系 緑川)		
調査地点名	保田窪本町めいぼ橋上流		
調査団体名	藤巻川をきれいにす会		
代表者名	参加人数	6人	
連絡先住所			
調査年月日	H28.10.28	調査時間	
調査日天候	雨天	気温	20 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

## 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	③ 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 3 点 階級			

## 2. 水質を調べる

水温	19 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	③ 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭		3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	③ 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	③ 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 2.2 点 階級			

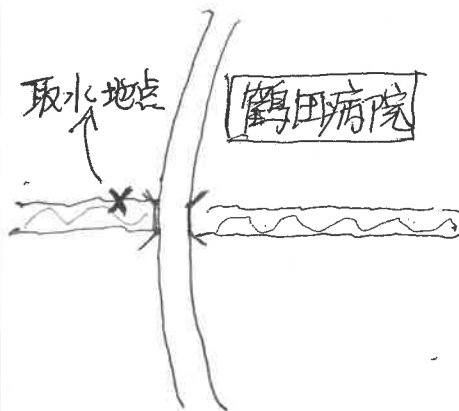
## 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	ほやせ 旱瀬	③ ひらせ 平瀬		
f. 石の状態	1. 浮き石	③ 沈み石		
g. 石の大きさ	1. すいか	② メロン	3. みかん	
h. 堆積物の種類	1. なし	② すなどろ 砂泥	3. どろ ふはい 泥(腐敗)	
i. 付着藻類色	① 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色	
j. 付着藻類量	① 少ない		2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 1.8 点 階級				

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

保田窪本町 鶴田病院付近  
めいぼ橋上流



(西原校区1町内)

年 組 名前

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	藻器堰川 (水系 緑川)		
調査地点名	保田産マルショ7店横		
調査団体名	藻器堰川をきれいにする会		
代表者名	参加人数	6人	
連絡先住所			
調査年月日	H28.10.28	調査時間	10:00
調査日天候	小雨	気温	20℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

### 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	③. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 3 点 階級			

### 2. 水質を調べる

水温	20℃		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	①. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	②. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	③. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.6点 階級			

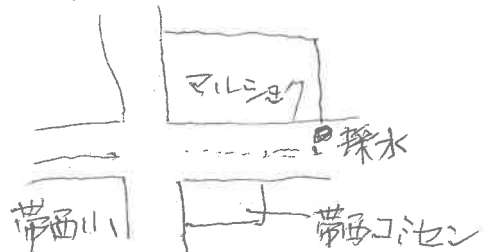
### 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	① 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	③. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	③. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	②. 砂泥	③. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	②. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	①. 少ない 2. 多い 3. マット状		
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 2.2点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

帯山西(保田産丁目)



年 組 名前

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	藻器堰川 (水系 緑川)		
調査地点名	渡瀬橋		
調査団体名	藻器堰川をきれいにする会		
代表者名	参加人数	6人	
連絡先住所			
調査年月日	12月10日	調査時間	10時
調査日天候	雨天	気温	20℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

### 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	③ 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 3 点 階級			

### 2. 水質を調べる

水温	20℃		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	② 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	③ 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.0 点 階級			

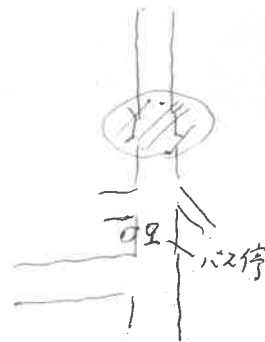
### 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	③ 沈み石	
g. 石の大きさ	① すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② すなごろ	3. どろ ふはい
i. 付着藻類色	① 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 1.6 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくのと後で便利です。

水質調査  
渡瀬バス停付近



年 組 名前

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	関川・諏訪川 (水系 菊池川 )		
調査地点名	荒尾市上井手 岩本橋付近		
調査団体名	関川・諏訪川流域会議		
代表者名	参加人数	36名 (小学生及び保護者)	
連絡先住所			

調査年月日	調査時間	天候	気温
平成 28 年 7 月 22 日	9:00	晴	28. 0℃

## 1 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 ②. 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 ②. 畑・水田 3. 市街地
①. 評価基礎点(A+B)/2= 2.0 点 階級Ⅲ	

## 2 水質を調べる

水 温	24. 0 °C	
a. 水の色	なし	①. 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	なし	①. 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	51cm	1. 80cm以上 2. 60cm以上 ③. 60cm未満
d. pH	7.5	①. 6.5 ~ 8.5 3. 6.4 以下、8.6 以上
e. COD	4.0	①. 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上
②. 水質評価点(a+b+c+d+e)/5= 1.4 点 階級Ⅱ		

## 3 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 <u>平瀬</u>
f. 石の状態	①. 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか ②. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし ②. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	①. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない ②. 多い 3. マット状
③. 川底評価点(f+g+h+i+j)/5= 1.6 点 階級Ⅱ	

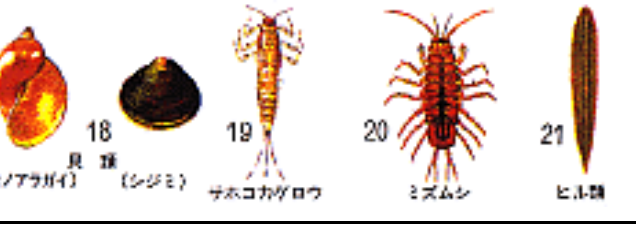
水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の 快適さ	①評価の 基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な 水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる 水環境	1.5	1.2	1.2
			<u>1.4</u>	1.4
III	不快を 感じない 水環境	<u>2.0</u>	1.6	<u>1.6</u>
			1.8	1.8
IV	多少 不快な 水環境	2.5	2.0	2.0
			1.8	1.8
V	不快な 水環境	3.0	2.4	2.4
			2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

メモ



# 川の水環境調査記録用紙(その2)

## 4. 底生動物を調べる

階級	NO. 指標生物名	水環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類	○				
	3. ヒゲナガカワトビケラ類					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
	8. ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		●			
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ類					
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類				○	
		22. サカマキガイ				
23. イトミミズ類						
24. セスジュスリカ(赤)						
25. ホシチョウバエ						
得点の集計		出現した種の数(○+●)	4	4	3	1
	最も多い種の数(●)		1			
	得点の合計	4	5	3	1	0
底生動物による川の水環境評価の判定		親しめる水環境 (II)				

# 川の水環境調査記録用紙

No. 35

調査河川名	緑川 (水系)		
調査地点名	青葉の瀬		
調査団体名	山都町美しいまちづくり推進員		
代表者名		参加人数	26名
連絡先住所	電話: - - ( )		
調査年月日	平成26年7月22日	調査時間	14:00
調査日天候	晴	気温	29.5℃

## 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	① 渓流域 2. 山間流域 3. 平地流域		
B. 川の背景	① 森林 2. 畑・水田 3. 市街地		
1. 評価基礎点 (A+B)/2 = / 点			

## 2. 水質を調べる

a. 水の色	1. 無色 2. 緑茶色 ③ 濁・灰・黒色 色相(濁(淡色))		
b. 水におい	① 無臭 3. 臭いあり 臭い( )		
水温	21.0℃	pH (パックテスト)	6.57
透視度	54 cm	COD (パックテスト)	0.5 mg/L
c. 透視度	1. 80cm以上 2. 60cm以上 ③ 60cm未満		
d. pH	① 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	① 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.8 点			

## 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬
f. 石の状態	① 浮き石 3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか ② ノロシ 3. みかん	
h. 堆積物の種類	1. なし ② 砂泥 3. 泥(腐敗)	
i. 付着藻類色	① 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色	
j. 付着藻類量	① 少ない 2. 多い 3. マット状	
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 1.4 点		

## 4. 底生生物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	5				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	2				
	7. ヒラタカゲロウ類	/				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類		/			
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類		4			
	12. ブユ類・ガガンボ類		/			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワナ					
	14. ヒラタドROMシ					
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジュスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(O+●)	3	3			
	最も多い種の数(●)	1				
	得点の合計	4	3			
底生動物による 川の水環境評価の判定		I				

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	地下水(地域飲料水) (水系 )		
調査地点名	大津町平川地区		
調査団体名	菊池管内環境活動協議会、大津北小学校(4年)		
代表者名	参加人数	19人	
連絡先住所			
調査年月日	平成28年9月27日	調査時間	14時
調査日天候	晴れ	気温	32℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

## 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 1.5 点 階級			

## 2. 水質を調べる

水温	19℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1 点 階級			

## 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくとお後で便利です。

年 組 名前

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	通潤用水 (水系 水系) (みどりかわ 緑川)		
調査地点名	円形分水工		
調査団体名	菊池管内環境活動協議会、大津北小学校(4年)		
代表者名	参加人数	19人	
連絡先住所			
調査年月日	平成28年9月27日	調査時間	14時
調査日天候	晴れ	気温	32℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

## 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)÷2= 1点 階級			

## 2. 水質を調べる

水温	℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)÷5= 1点 階級			

## 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)÷5= 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	平川 (水系 菊池川)		
調査地点名	大津北小学校近くのリフレッシュ広場付近		
調査団体名	菊池管内環境活動協議会、大津北小学校(4年)		
代表者名	参加人数	19 人	
連絡先住所			
調査年月日	平成28年9月27日	調査時間	14時
調査日天候	晴れ	気温	32 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
			2.0	2.0
IV	多少不快な水環境	2.5	2.2	2.2
			2.4	2.4
V	不快な水環境	3.0	2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

## 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点 階級			

## 2. 水質を調べる

水温	26 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満		3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.6 点 階級			

## 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくのと後で便利です。

○平川は、普段水が流れていない川のようにです。

今回は、数日前に降った雨による水を採取しました。

年 組 名前

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	矢護川 (水系 菊池川)		
調査地点名	矢護川公園		
調査団体名	菊池管内環境活動協議会、大津北小学校(4年)		
代表者名	参加人数	19 人	
連絡先住所			
調査年月日	平成28年9月27日	調査時間	14時
調査日天候	晴れ	気温	32 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

## 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2 点 階級			

## 2. 水質を調べる

水温	17.5 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1 点 階級			

## 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	球磨川 (水系 球磨川)		
調査地点名	中川原公園		
調査団体名	人吉東小学校 5年生		
代表者名	参加人数	79人	
連絡先住所			
調査年月日	平成28年6月2日	調査時間	9:37
調査日天候	快晴	気温	19.8 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

## 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 (2) 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 2. 畑・水田 (3) 市街地
①評価基礎点 $(A+B)/2 = 2.5$ 点 階級 IV	

## 2. 水質を調べる

水温	18 °C
a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	(1) 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満 (3) 5.0mg/L以上
②水質評価点 $(a+b+c+d+e)/5 = 1.4$ 点 階級 II	

## 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	(2) 早瀬 3. 平瀬
f. 石の状態	(1) 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか (2) メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	(1) なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 $(f+g+h+i+j)/5 = 1.2$ 点 階級 II	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

# 川の水環境調査記録用紙(その2)

## 4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級					
		I	II	III	IV	V	
快 適 な 水 環 境 (I)	1. カワゲラ類	○					
	2. ナガレトビケラ類	○					
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○					
	4. チラカゲロウ	○					
	5. 携巢性トビケラ類	○					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○					
	7. ヒラタカゲロウ類	●					
親 し め る 水 環 境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○				
	9. ヘビトンボ類		○				
	10. マダラカゲロウ類		○				
	11. タニガワカゲロウ類		○				
	12. ブユ類・ガガンボ類		○				
不 快 を 感 じ な い 水 環 境 (III)	13. カワニナ			○			
	14. ヒラタドロムシ			○			
	15. コカゲロウ類			○			
	16. コガタシマトビケラ						
	17. ユスリカ類(白・緑)						
水 多 少 不 快 な 水 環 境 (IV)	18. 貝類				○		
	19. サホコカゲロウ				○		
	20. ミズムシ(等脚目)				○		
	21. ヒル類				○		
	22. サカマキガイ					○	
不 快 な 水 環 境 (V)	23. イトミミズ類					○	
	24. セスジユスリカ(赤)					○	
	25. ホシチョウバエ					○	
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	7	4	2	0	0
	得点の集計	最も多い種の数(●)	1	0	0	0	0
得点の集計	得点の合計	8	4	2	0	0	
底生動物による川の水環境評価の判定		I					

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。



# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	胸川 (水系 球磨川)		
調査地点名	胸川橋下		
調査団体名	東間小学校 5年生		
代表者名	参加人数	56人	
連絡先住所			
調査年月日	平成28年6月3日	調査時間	10:10
調査日天候	くもり	気温	24.4 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

### 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点 階級 IV			

### 2. 水質を調べる

水温	19 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.4 点 階級 II			

### 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.2 点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

# 川の水環境調査記録用紙(その2)

## 4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快 適 な 水 環 境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類	○				
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類	●				
親 し め る 水 環 境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不 快 を 感 じ な い 水 環 境 (III)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水 多 少 不 快 な 水 環 境 (IV)	18. 貝類				○	
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
	不 快 な 水 環 境 (V)	22. サカマキガイ				
23. イトミミズ類						
24. セスジユスリカ(赤)						
25. ホシチョウバエ						
得 点 の 集 計		出現した種の数(○+●)	6	3	4	1
	最も多い種の数(●)	1	0	0	0	0
	得点の合計	7	3	4	1	0
底生動物による 川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	永野川 (水系 球磨川)		
調査地点名	清水川橋下		
調査団体名	西瀬小学校 5年生		
代表者名	参加人数	38人	
連絡先住所			
調査年月日	平成28年7月5日	調査時間	10:10
調査日天候	晴れ	気温	30℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

## 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2点 階級 III			

## 2. 水質を調べる

水温	24℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1点 階級 I			

## 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.2点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

# 川の水環境調査記録用紙(その2)

## 4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級					
		I	II	III	IV	V	
快 適 な 水 環 境 (I)	1. カワゲラ類	○					
	2. ナガレトビケラ類						
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○					
	4. チラカゲロウ	○					
	5. 携巢性トビケラ類						
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○					
	7. ヒラタカゲロウ類	●					
親 し め る 水 環 境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)						
	9. ヘビトンボ類						
	10. マダラカゲロウ類		○				
	11. タニガワカゲロウ類		○				
	12. ブユ類・ガガンボ類						
不 快 を 感 じ な い 水 環 境 (III)	13. カワニナ			○			
	14. ヒラタドロムシ			○			
	15. コカゲロウ類			○			
	16. コガタシマトビケラ						
	17. ユスリカ類(白・緑)						
水 多 少 不 快 な 水 環 境 (IV)	18. 貝類						
	19. サホコカゲロウ						
	20. ミズムシ(等脚目)						
	21. ヒル類						
	22. サカマキガイ						
不 快 な 水 環 境 (V)	23. イトミミズ類						
	24. セスジユスリカ(赤)						
	25. ホシチョウバエ						
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	5	2	3	0	0
	得点の集計	最も多い種の数(●)	1	0	0	0	0
得点の集計	得点の合計	6	2	3	0	0	
底生動物による川の水環境評価の判定		I					

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	鳩胸川 (水系 球磨川)		
調査地点名	上麓橋下		
調査団体名	大畑小学校		
代表者名	参加人数	32人	
連絡先住所			
調査年月日	平成28年9月2日	調査時間	9:15
調査日天候	晴れ	気温	25 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

## 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2点 階級 III			

## 2. 水質を調べる

水温	19.1 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1点 階級 I			

## 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	1. 早瀬	2. 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1点 階級 I			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

# 川の水環境調査記録用紙(その2)

## 4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快 適 な 水 環 境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類	○				
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類	●				
親 し め る 水 環 境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類					
	不 快 を 感 じ な い 水 環 境 (III)	13. カワニナ			○	
14. ヒラタドロムシ						
15. コカゲロウ類						
16. コガタシマトビケラ						
17. ユスリカ類(白・緑)						
水 多 少 不 快 な 水 環 境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
	不 快 な 水 環 境 (V)	22. サカマキガイ				
23. イトミミズ類						
24. セスジユスリカ(赤)						
25. ホシチョウバエ						
得 点 の 集 計		出現した種の数(○+●)	7	2	1	0
	最も多い種の数(●)	1	0	0	0	0
	得点の合計	8	2	1	0	0
底生動物による 川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	万江川 (水系 球磨川)		
調査地点名	新万江川橋下流		
調査団体名	中原小学校 5年生		
代表者名	参加人数	63 人	
連絡先住所			
調査年月日	平成28年9月9日	調査時間	10:05
調査日天候	快晴	気温	24℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

## 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)÷2 = 2.5 点 階級 IV			

## 2. 水質を調べる

水温	22 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)÷5 = 1.4 点 階級 II			

## 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	1. 早瀬	2. 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)÷5 = 1.6 点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

# 川の水環境調査記録用紙(その2)

## 4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級					
		I	II	III	IV	V	
快 適 な 水 環 境 (I)	1. カワゲラ類	○					
	2. ナガレトビケラ類						
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○					
	4. チラカゲロウ	○					
	5. 携巢性トビケラ類	○					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○					
	7. ヒラタカゲロウ類	●					
親 し め る 水 環 境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)						
	9. ヘビトンボ類						
	10. マダラカゲロウ類		○				
	11. タニガワカゲロウ類		○				
	12. ブユ類・ガガンボ類		○				
不 快 を 感 じ な い 水 環 境 (III)	13. カワニナ			○			
	14. ヒラタドロムシ			○			
	15. コカゲロウ類						
	16. コガタシマトビケラ			○			
	17. ユスリカ類(白・緑)						
水 多 少 不 快 な 水 環 境 (IV)	18. 貝類						
	19. サホコカゲロウ						
	20. ミズムシ(等脚目)						
	21. ヒル類						
	22. サカマキガイ						
不 快 な 水 環 境 (V)	23. イトミミズ類						
	24. セスジユスリカ(赤)						
	25. ホシチョウバエ						
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	6	3	3	0	0
	得点の集計	最も多い種の数(●)	1	0	0	0	0
得点の集計	得点の合計	7	3	3	0	0	
底生動物による川の水環境評価の判定		I					

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。



# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	山田川 (水系 球磨川)		
調査地点名	鶴亀橋下		
調査団体名	人吉西小学校 4年生		
代表者名	参加人数	36人	
連絡先住所			
調査年月日	平成28年9月23日	調査時間	14:30
調査日天候	晴れ	気温	29 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

## 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	③. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 3点 階級 V			

## 2. 水質を調べる

水温	23.1 °C		
a. 水の色	①. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	①. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	①. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	①. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	①. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1点 階級 I			

## 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	①. ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	①. ういし 浮き石	3. しずいし 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	②. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	①. なし	2. すなどろ 砂泥	3. どろ ふはい 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	①. ちやうりくよく 茶緑色	2. みどりいろ 緑色	3. しろはいくろしよく 白灰黒色
j. 付着藻類量	①. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.2点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

# 川の水環境調査記録用紙(その2)

## 4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級					
		I	II	III	IV	V	
快 適 な 水 環 境 (I)	1. カワゲラ類	●					
	2. ナガレトビケラ類						
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○					
	4. チラカゲロウ	○					
	5. 携巢性トビケラ類	○					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○					
	7. ヒラタカゲロウ類	○					
親 し め る 水 環 境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)						
	9. ヘビトンボ類						
	10. マダラカゲロウ類						
	11. タニガワカゲロウ類		○				
	12. ブユ類・ガガンボ類						
不 快 を 感 じ な い 水 環 境 (III)	13. カワニナ			○			
	14. ヒラタドロムシ			○			
	15. コカゲロウ類						
	16. コガタシマトビケラ			○			
	17. ユスリカ類(白・緑)						
水 多 少 不 快 な 水 環 境 (IV)	18. 貝類						
	19. サホコカゲロウ						
	20. ミズムシ(等脚目)						
	21. ヒル類						
	22. サカマキ貝						
不 快 な 水 環 境 (V)	23. イトミズ類						
	24. セスジユスリカ(赤)						
	25. ホシチョウバエ						
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	6	1	3	0	0
	得点の集計	最も多い種の数(●)	1	0	0	0	0
得点の集計	得点の合計	7	1	3	0	0	
底生動物による川の水環境評価の判定		I					

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

No. \_\_\_\_\_

調査河川名	緑川 (水系)		
調査地点名	2女松がわら		
調査団体名	白旗小学校		
代表者名	参加人数	12 人	
連絡先住所	電話: - - ( )		
調査年月日	H20.10.25	調査時間	10:30
調査日天候	晴	気温	26℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
IV	多少不快な水環境	2.5	2.0	2.0
			2.2	2.2
V	不快な水環境	3.0	2.4	2.4
			2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

## 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点	(A+B)/2 = 2.5 点 階級		

## 2. 水質を調べる

水温	22 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点	(a+b+c+d+e)/5 = _____ 点 階級		

## 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 旱瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点	(f+g+h+i+j)/5 = 1.4 点 階級		

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくその後で便利です。

年 組 名前

# 川の水環境調査記録用紙(その2)

No. \_\_\_\_\_

## 4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級					
		I	II	III	IV	V	
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	<input checked="" type="checkbox"/>					
	2. ナガレトビケラ類						
	3. ヒゲナガカワトビケラ						
	4. チラカゲロウ						
	5. 携巢性トビケラ類						
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ						
	7. ヒラタカゲロウ類	<input type="checkbox"/>					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)						
	9. ヘビトンボ類		<input type="checkbox"/>				
	10. マダラカゲロウ類		<input type="checkbox"/>				
	11. タニガワカゲロウ類						
	12. ブユ類・ガガンボ類						
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ						
	14. ヒラタドROMシ			<input type="checkbox"/>			
	15. コカゲロウ類			<input type="checkbox"/>			
	16. コガタシマトビケラ						
	17. ユスリカ類(白・緑)						
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類						
	19. サホコカゲロウ						
	20. ミズムシ(等脚目)						
	21. ヒル類						
	22. サカキ貝						
不快な水環境 (V)	23. イトミス類					<input type="checkbox"/>	
	24. セスジユスリカ(赤)						
	25. ホシチョウバエ						
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	2	2	2	1	
	得点の集計	最も多い種の数(●)	1				
得点の合計		3	2	2	1		
底生動物による川の水環境評価の判定							

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	和仁川 (水系)
調査地点名	阿立香高小学校
調査団体名	和仁町立三和小学校 4年生
代表者名	参加人数 20人
連絡先住所	
調査年月日	平成29年9月9日
調査時間	9時~11時
調査日天候	晴 気温 29℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

### 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 2. 畑・水田 3. 市街地
① 評価基礎点 (A+B)/2 = 2 点 階級	

### 2. 水質を調べる

水温	24 °C
a. 水の色	① 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	① 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上
② 水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1 点 階級	

### 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 2. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない 2. 多い 3. マット状
③ 川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 2.4 点 階級	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

年 組 名前

# 川の水環境調査記録用紙(その2)

No. \_\_\_\_\_

## 4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
1.カワゲラ類 2.ナガレトビケラ類 3.ヒゲナガカワトビケラ 4.チラカゲロウ 5.携巢性トビケラ類 6.ニッポンヨコエビ・サワガニ 7.ヒラタカゲロウ類	1.カワゲラ類					
	2.ナガレトビケラ類					
	3.ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4.チラカゲロウ					
	5.携巢性トビケラ類					
	6.ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7.ヒラタカゲロウ類	●				
8.ウズムシ類 9.ヘビトンボ類 10.マダラカゲロウ類 11.タニガワカゲロウ類 12.ブユ類・ガガンボ類	8.ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9.ヘビトンボ類					
	10.マダラカゲロウ類					
	11.タニガワカゲロウ類		○			
	12.ブユ類・ガガンボ類		○			
13.カワニナ 14.ヒラタドロムシ 15.コカゲロウ類 16.コガタシマトビケラ 17.ユスリカ類(白・緑)	13.カワニナ					
	14.ヒラタドロムシ			○		
	15.コカゲロウ類					
	16.コガタシマトビケラ			○		
	17.ユスリカ類(白・緑)			○		
18.貝類 19.サホコカゲロウ 20.ミズムシ(等脚目) 21.ヒル類	18.貝類					
	19.サホコカゲロウ					○
	20.ミズムシ(等脚目)					
	21.ヒル類					
	22.サカマキ貝					
23.イトミズ類 24.セスジユスリカ(赤) 25.ホシチョウバエ	22.サカマキ貝					
	23.イトミズ類					
	24.セスジユスリカ(赤)					
	25.ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	2	3	3	1
	最も多い種の数(●)	1	1			
	得点の合計	3	4	3	1	
底生動物による川の水環境評価の判定		II				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	八貫水川 (水系 菊池川)		
調査地点名	熊本県玉名郡南関町大字小原674-1付近		
調査団体名	南関第3小学校 4年生		
代表者名	参加人数	15人	
連絡先住所			
調査年月日	平成28年10月19日	調査時間	9:00
調査日天候	晴れ	気温	25.5℃

階級	水環境の 快適さ	①評価の 基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる 水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない 水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な 水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

### 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域
B. 川の背景	2. 畑・水田
①評価基礎点 $(A+B)/2 = 1.5$ 点 階級 II	

### 2. 水質を調べる

水温	19.0℃
a. 水の色	1. 無色
b. 水の臭い	1. 無臭
c. 透視度	1. 80cm以上(85.0cm)
d. pH	1. 6.5~8.5(7.5)
e. COD	1. 5.0mg/L未満
②水質評価点 $(a+b+c+d+e)/5 = 1.0$ 点 階級 I	

### 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	平瀬
f. 石の状態	3. 沈み石
g. 石の大きさ	2. メロン
h. 堆積物の種類	1. なし
i. 付着藻類色	1. 茶緑色
j. 付着藻類量	1. 少ない
③川底評価点 $(f+g+h+i+j)/5 = 1.6$ 点 階級 II	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

南関町役場 税務住民課 環境対策係  
年 組 名前

# 川の水環境調査記録用紙(その2)

No. \_\_\_\_\_

## 4. 底生動物を調べる

階級	No.	しひょうせいぶつめい 指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快 適 な 水 環 境 (I)	1.	カワゲラ類	●				
	2.	ナガレトビケラ類	●				
	3.	ヒゲナガカワトビケラ	●				
	4.	チラカゲロウ	●				
	5.	携巢性トビケラ類	○				
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7.	ヒラタカゲロウ類	●				
親 し め る 水 環 境 (II)	8.	ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9.	ヘビトンボ類		●			
	10.	マダラカゲロウ類		●			
	11.	タニガワカゲロウ類		○			
	12.	ブユ類・ガガンボ類		●			
不 快 を 感 じ な い 水 環 境 (III)	13.	カワニナ			●		
	14.	ヒラタドROMシ			●		
	15.	コカゲロウ類			○		
	16.	コガタシマトビケラ			○		
	17.	ユスリカ類(白・緑)			○		
水 多 少 不 快 な 水 環 境 (IV)	18.	貝類				○	
	19.	サホコカゲロウ				○	
	20.	ミズムシ(等脚目)				○	
	21.	ヒル類				●	
不 快 な 水 環 境 (V)	22.	サカマキガイ					●
	23.	イトミズ類					●
	24.	セスジユスリカ(赤)					●
	25.	ホシチョウバエ					●
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	2	2	3	3	0
得点の集計	最も多い種の数(●)			1			
得点の集計	得点の合計	2	2	4	3	0	
底生動物による 川の水環境評価の判定			<b>III</b>				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。



# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	内田川 (水紫菊地川)		
調査地点名	柴尾橋 (次郎丸)		
調査団体名	南関第4小学校 4年生		
代表者名	参加人数	12人	
連絡先住所			
調査年月日	H28. 8. 30	調査時間	9:20
調査日天候	晴	気温	27.0℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
			2.0	2.0
IV	多少不快な水環境	2.5	2.2	2.2
			2.4	2.4
V	不快な水環境	3.0	2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

### 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	② 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	② 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 2.0点 階級 II			

### 2. 水質を調べる

65c  
7.0  
5.0

水温	21.5℃		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	② 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	③ 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.6点 階級 II			

### 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	草瀬	③ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	③ 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	② メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	① なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 1.6点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくとも後で便利です。

年 組 名前

# 川の水環境調査記録用紙(その2)

## 4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ			●		
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
水多量不快な水環境 (IV)	18. 貝類				○	
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類				○	
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	1	1	3	2
得点の集計	最も多い種の数(●)			1		
得点の集計	得点の合計	1	1	4	2	0
底生動物による川の水環境評価の判定		III				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	環 (水系)		
調査地点名	南関高校前		
調査団体名	南関町立南関中学校		
代表者名		参加人数	11人
連絡先住所			
調査年月日	9/13/06	調査時間	14:00~16:00
調査日天候	晴	気温	22℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

### 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 2.5 点 階級			

### 2. 水質を調べる

水温	24.0℃
a. 水の色	①. 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	①. 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上 ②. 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	①. 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	①. 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 2.2 点 階級	

### 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	草藻 ①. 平藻
f. 石の状態	1. 浮き石 ②. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン ③. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし ②. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	①. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	①. 少ない ②. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 2.2 点 階級	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

年 組 名前

# 川の水環境調査記録用紙(その2)

No. \_\_\_\_\_

## 4. 底生動物を調べる

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類					
	2.	ナガレトビケラ類					
	3.	ヒゲナガカワトビケラ					
	4.	チラカゲロウ	○				
	5.	携巢性トビケラ類					
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7.	ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8.	ウズムシ類(プラナリア)					
	9.	ヘビトンボ類					
	10.	マダラカゲロウ類		●			
	11.	タニガワカゲロウ類		○			
	12.	ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13.	カワニナ					
	14.	ヒラタドROMシ					
	15.	コカゲロウ類					
	16.	コガタシマトビケラ					
	17.	ユスリカ類(白・緑)					
多少不快な水環境 (IV)	18.	貝類					
	19.	サホコカゲロウ					
	20.	ミズムシ(等脚目)					
	21.	ヒル類		○			
不快な水環境 (V)	22.	サカマキガイ					
	23.	イトミミズ類					
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	1	1	1	1	1
得点の集計	最も多い種の数(●)	1	1	1	1	1	
得点の集計	得点の合計	1	4	1	1	1	
底生動物による川の水環境評価の判定							

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	堀川 (水系 坪井川)		
調査地点名	元気の森公園付近		
調査団体名	菊池管内環境活動協議会、合志南小学校(3・4年)		
代表者名	参加人数	50 人	
連絡先住所			
調査年月日	平成28年10月15日	調査時間	9時~11時
調査日天候	晴れ	気温	26 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

## 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 3 点 階級			

## 2. 水質を調べる

水温	17.5 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.2 点 階級			

## 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロ	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.4 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

年 組 名前

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	湯出川 (水系 水俣川)		
調査地点名	水俣市南福寺		
調査団体名	エコロジスト・リーダー養成講座(第3回)		
代表者名	参加人数	21 人	
連絡先住所			
調査年月日	平成28年8月7日(日)	調査時間	13:00~14:00
調査日天候	晴れ	気温	℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

## 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 <input checked="" type="radio"/> 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 2. 畑・水田 <input checked="" type="radio"/> 3. 市街地
①評価基礎点 $(A+B)/2 = 3.0$ 点 階級 V	

## 2. 水質を調べる

水温	℃		
a. 水の色	<input checked="" type="radio"/> 1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	<input checked="" type="radio"/> 1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	<input checked="" type="radio"/> 1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	<input checked="" type="radio"/> 1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	<input checked="" type="radio"/> 1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 $(a+b+c+d+e)/5 = 1.0$ 点 階級 I			

## 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬 <input checked="" type="radio"/> ひらせ 平瀬
f. 石の状態	<input checked="" type="radio"/> 1. 浮き石 <input type="radio"/> 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか <input checked="" type="radio"/> 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし <input checked="" type="radio"/> 2. 砂泥 <input type="radio"/> 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	<input checked="" type="radio"/> 1. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	<input checked="" type="radio"/> 1. 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 $(f+g+h+i+j)/5 = 1.4$ 点 階級 II	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

年 組 名前

# 川の水環境調査記録用紙(その2)

## 4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快 適 な 水 環 境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類	●				
親 し め る 水 環 境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不 快 を 感 じ な い 水 環 境 (III)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水 多 少 不 快 な 水 環 境 (IV)	18. 貝類				○	
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
	不 快 な 水 環 境 (V)	22. サカマキガイ				
23. イトミミズ類						
24. セスジユスリカ(赤)						
25. ホシチョウバエ						
得 点 の 集 計		出現した種の数(○+●)	6	4	4	1
	最も多い種の数(●)					
	得点の合計	7	4	4	1	1
底生動物による 川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	大野川	(水系)
調査地点名	亀ヶ沢	
調査団体名	多摩川子供会 碓氷地区児童	
代表者名		参加人数 39名 大人4名
連絡先住所		
調査年月日	H.28.7.24	調査時間 9:00~10:00
調査日天候	晴	気温 29~30℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

II

## 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	① 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	① 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
① 評価基礎点 (A+B)/2 = 1 点 階級 I			

## 2. 水質を調べる

水温	23.2℃
a. 水の色	① 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	① 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上
② 水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1 点 階級 I	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

晴天で川辺が気持ちよく過ごせました。子供たちも水中に入り大石や小石を探して楽しんでいます。川にはいろいろな生物が観察されました。水の流れが早いので観察が難しいと感じました。観察者の協力もあって、観察がスムーズに進みました。観察終了後は、ゴミの回収も忘れずに実施しました。

年 組 名前

## 3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬
f. 石の状態	① 浮き石	3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか	②. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	① なし	2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色	2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない	2. 多い 3. マット状
③ 川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 1.2 点		

階級 II



# 川の水環境調査記録用紙(その2)

No. \_\_\_\_\_

## 4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
1. カワゲラ類 2. ナガレトビケラ類 3. ヒゲナガカワトビケラ 4. テラカゲロウ 5. 携巢性トビケラ類 6. ニッポンヨコエビ・サワガニ 7. ヒラタカゲロウ類	1. カワゲラ類	●				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. テラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類					
8. ウズムシ類 9. ヘビトンボ類 10. マダラカゲロウ類 11. タニガワカゲロウ類 12. ブユ類・ガガンボ類	8. ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
13. カワニナ 14. ヒラタドROMシ 15. コカゲロウ類 16. コガタシマトビケラ 17. ユスリカ類(白・緑)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドROMシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
18. 貝類 19. サホコカゲロウ 20. ミズムシ(等脚目) 21. ヒル類	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
	21. ヒル類					
22. サカマキガイ 23. イトミズ類 24. セスジユスリカ(赤) 25. ホシチョウバエ	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	2	3	2		
	最も多い種の数(●)	1				
	得点の合計	3	3	2		
底生動物による川の水環境評価の判定		I 快適な水環境				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

# 川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	中津川 (水質)		
調査地点名	有明町 大島子		
調査団体名	7あの花		
代表者名	参加人数	15人	
連絡先住所			
調査年月日	H28. 8. 10	調査時間	10:30-
調査日天気	曇	気温	32℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

## 1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 滝流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 3 点 階級 V			

## 2. 水質を調べる

水質	℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透明度	① 80cm以上	② 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~6.5	3. 6.4以下	3. 6.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	③ 10.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 2.4 点 階級 II			

## 3. 川底を調べる

(産生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	草場	① 草場	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. きゅうり
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 屑(腐敗)
i. 付着藻類の色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類の量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2 点 階級 III			

メモ: 河川の因、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくとな後で便利です。

たのしみ しばらくすきとにこた  
りしての波達も とまどふまはたか  
草の下にエビをみつけた  
"大さき" 泳ぐととたりと  
とても楽しそうでした。いつも  
落ち着きのりるが 夢中になら  
ず 印象的でした。  
自然は大事と ワクワク 感じました。

年 組 名前

# 川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 54

## 4. 底生動物を調べる

階級	No. 採集生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快速な水環境 (I)	1. カワゲラ類	<input type="checkbox"/>				
	2. ナガレトビケラ類	<input type="checkbox"/>				
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. テラカゲロウ					
	5. 横果性トビケラ類	<input type="checkbox"/>				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	<input checked="" type="checkbox"/>				
	7. ヒラタカゲロウ類					
緩しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類					
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類				<input type="checkbox"/>	
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)				<input type="checkbox"/>	
	21. ヒル類				<input type="checkbox"/>	
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					<input checked="" type="checkbox"/>
	23. イトミミズ類					<input type="checkbox"/>
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシテウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	4	0	0	2
最も多い種の数(●)	1	0	0	0	1	
得点の合計		5	0	0	2	3
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された採集生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。